



AKITA

〔6月〕

県内経済

概況

県内経済は、一部に弱さがみられるが、全体として持ち直しの動きが続いている

木材の生産は持ち直しの動きとなっているが、電子部品、機械金属は弱含んでいる。建設は、公共工事が前年を下回ったが、住宅着工は増加基調で推移している。個人消費は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は改善傾向にあるが、一部業種では人手不足が深刻化している。

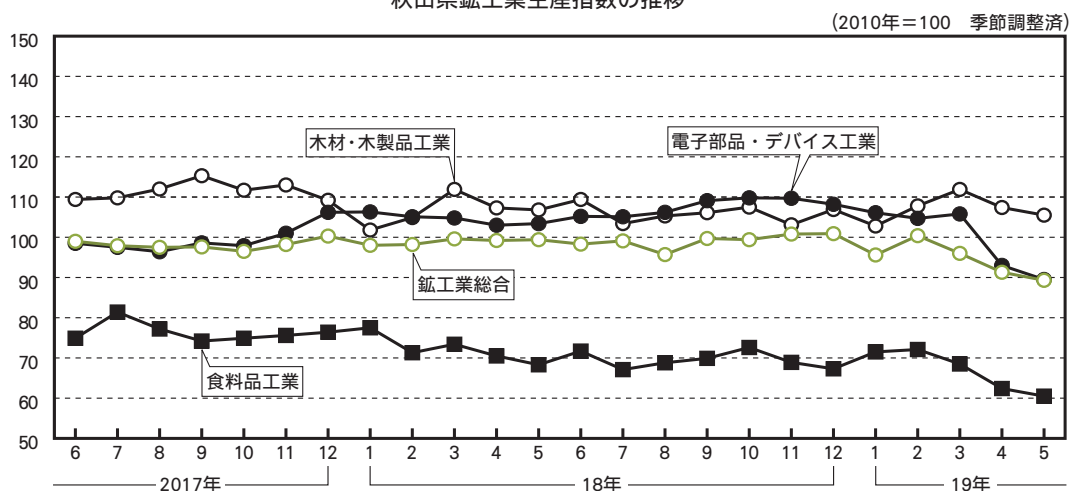
産業別の動向では、電子部品の生産額は、スマートフォン向けが中国市場の低迷などから減少が続いているほか、好調であった車載向けも減少に転じ、2か月ぶりに前年を下回った。機械金属の生産額は、輸送機械で一部自動車メーカーによる完成車の不正検査問題などが影響し、3か月連続で前年を下回った。木材は、普通合板（5月）、製材品ともに持ち直しの動きとなっている。公共工事請負額は、3か月連続で前年を下回り、年度累計でも前年度を下回って推移している。地元大手（12社）の建設受注額は、官公庁工事が振るわず、2か月連続で

前年を下回った。住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅がともに増加し、2か月ぶりに前年を上回った。個人消費は、小売店販売額（5月）が前年を上回ったが、新車乗用車販売台数が前年を大幅に下回り、全体として持ち直しの動きが足踏みしている。

有効求人倍率は前月比 0.01 ポイント低下の1.49 倍となった。新規求人数は前年比 8.5% 減となり、2か月連続で減少した。事業主都合離職者数は 34.6% 増となり、2か月連続で前年を上回った。

企業倒産件数は 2 件、負債総額は 1 億 5,000 万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

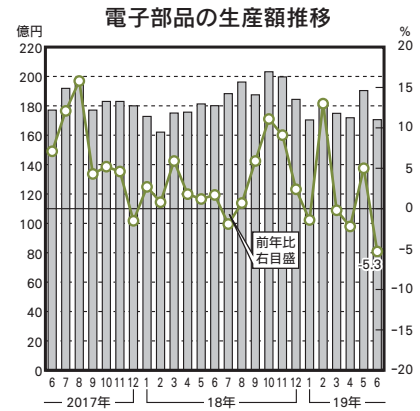
電子部品

生産額、2か月ぶりに前年比減少

6月の生産額は前年比5.3%減と2か月ぶりに前年実績を下回った。スマートフォン向けは市場全体の低迷から減少が続いており、これまで好調だった車載向けも、中国市場の減少が続いていることに加え、北米向けも減少に転ずるなど、海外向けが振るわず減速している。

その他品目別では、好調が続いていた主力のセラミック・コンデンサやインダクタが減少傾向となっており、半導体素子、産業向け液晶パネルも減少に歯止めがかかっていない。

なお、4-6月期は前年同期比0.8%の減少、今年上半期は同1.4%の増加となった。



(当研究所調べ、県内4社)

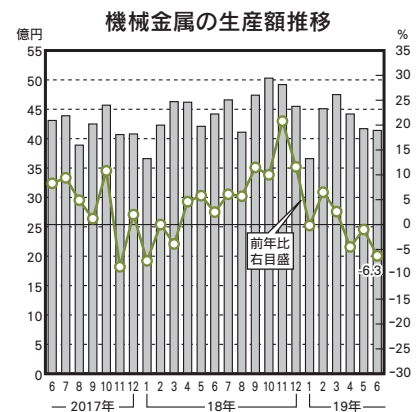
機械金属

生産額、3か月連続で前年を下回る

6月の生産額は前年比6.3%減と3か月連続で前年実績を下回った。ウエイトの高い輸送機械において、メーカー1社で完成検査データ書き換えや無資格者検査発覚の影響が尾を引いていることに加え、海外向けの落ち込みが影響した。

その他の民需関連では、金型は減少が続いているものの、建機部品は堅調に推移しており、製鋼品にも回復の兆しがみられる。公共工事関連では、これまで堅調だった水道部品が減少に転じ、橋梁・鉄骨は減少に歯止めがかかっていない。

なお、4-6月期は前年同期比4.0%の減少、今年上半期は同0.5%の減少となった。



(当研究所調べ、県内8社)

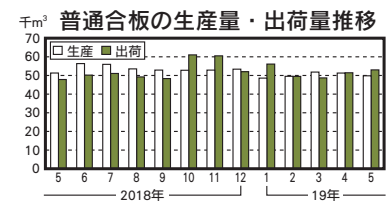
木材業

普通合板、製材品とも持ち直しの動き

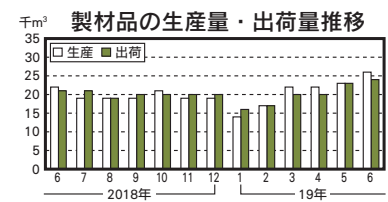
全国的には、木造の新設住宅着工戸数が堅調に推移する中、普通合板は生産、出荷とも前年比増加基調を維持しているが、製材品には一服感が見受けられる。一方、県内では、普通合板、製材品とも、引き続き持ち直しの動きが続いている。

5月の普通合板は、生産量が前年比2.9%減と2か月ぶりに減少したが、出荷量は同10.8%増と2か月連続で前年を上回った。出荷量が生産量を上回ったことで在庫量は前月より減少し、前年比でも7.3%減と23か月ぶりに前年を下回った。

6月の製材品は、生産量が前年比18.2%増、出荷量は同14.3%増と、引き続き増加基調を保っている。



資料: 秋田県農林水産部林業木材産業課



資料: 農林水産省「製材統計」

酒造業

出荷量、2か月連続で前年比減少

6月の清酒出荷量は、前年比11.5%減と、2か月連続で前年を下回った。全国的に雨の日が多く不安定な天候が続いたため需要が縮小し、前年比二桁の減少率となった。出荷先別では、県内向けは同14.9%減、県外向けも同9.6%減となった。県外の主な出荷先別では、東京が同9.2%減、東北5県は同9.1%減、北海道も同4.1%減と、いずれも減少した。

清酒の種類別では、普通酒は前年比13.9%減、特定名称酒も同8.5%減と、ともに減少した。特定名称酒の内訳では、吟醸酒は同7.3%減、純米酒は同7.8%減、本醸造酒は同14.6%減と、いずれも前年を下回った。



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 国や県等が減少し、3か月連続で前年比減少

6月の公共工事請負金額は、市町村が増加したものの、国や県等が減少し、前年比20.1%減と3か月連続で前年を下回り、年度累計でも前年同期比7.7%減となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の6月の新規受注額も、前年比0.6%減の2,320百万円と2か月連続で前年を下回った。うち民間工事は、店舗の新築工事等の大口受注があり、同21.6%増と伸びたが、官公庁工事は、土木が前年実績を下回り、同3.9%減と振るわなかった。ただし、年度累計の受注実績では、4月の受注増が寄与し、前年同期比6.2%増と前年を上回っている。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	6月	前年比	4月～6月	前年同期比
件数	362	2.5	886	1.7
請負金額	15,974	△20.1	52,560	△7.7

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	6月	前年比	4月～6月	前年同期比
官公庁	1,948	△3.9	6,152	38.7
民間	372	21.6	1,858	△40.2
合計	2,320	△0.6	8,010	6.2

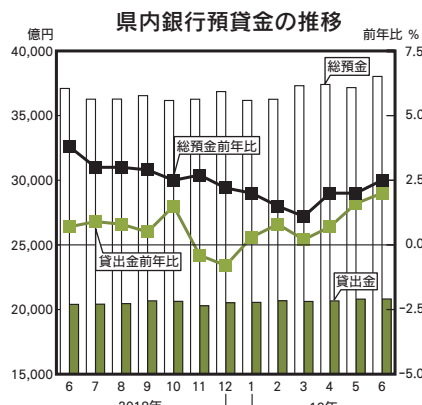
(当研究所調べ、県内12社)

金融

預金、貸出金とも前年比増加率が拡大

6月末の県内銀行の預金は、前月末比864億円増加し、前年比でも2.5%の増加となった。貸出金は、前月末比10億円増加し、前年比でも2.0%の増加となった。預金、貸出金とも前年を上回って推移しており、いずれも伸び率は前月に比べ拡大した。

6月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は2件(前年比1件増)、負債総額は1億5,000万円となった。倒産件数は2012年11月以降80か月連続で一桁台または0件で推移している。負債総額も、前年同月が少額であったため、前年比733.3%増となったが、負債額としては依然低水準にとどまっている。



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

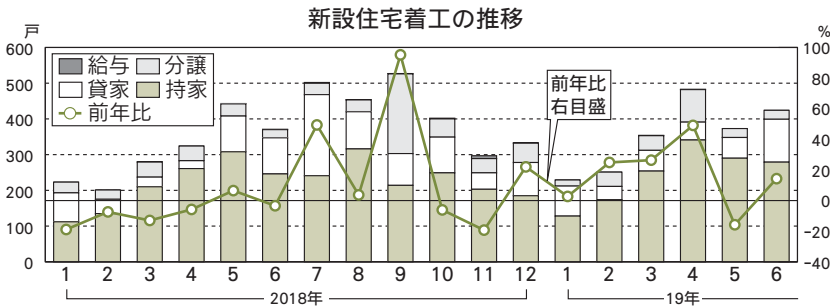
着工戸数、2か月ぶりに前年比増加

6月の県内新設住宅着工戸数は、424戸（前年比53戸増、14.3%増）であった。主力である持家のほか、貸家も前年比二桁の増加率となったことに加え、分譲住宅も増加し、2か月ぶりに前年を上回った。

利用関係別では、持家が279戸（前年比33戸増）、貸家が120戸（同19戸増）、分譲住宅が25戸（同2戸増）、給与住宅が0戸（同1戸減）となっている。

持家は2か月ぶりに前年を上回った。貸家は能代市やにかほ市などで民間の一般向け賃貸住宅が増加し、2か月ぶりに前年を上回った。分譲住宅は小規模戸建が増加し、2か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、県北・県央・県南の全地域で前年を上回った。県北は持家、貸家、分譲住宅、県央は持家、県南は持家と貸家の着工がそれぞれ増加した。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向

(単位：戸、%)

区分	2019年6月	前年比	19年1~6月	前年比
県北	113	41.3	445	12.9
県央	221	3.8	1,098	6.6
県南	90	15.4	571	36.6
合計	424	14.3	2,114	14.8

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

持ち直しの動きが足踏みしている

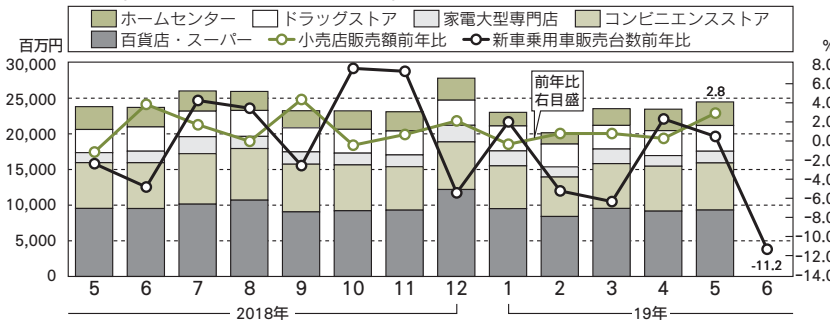
5月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、合計で前年比2.8%増となり、4か月連続で前年を上回った。家電大型専門店（同16.7%増）、ドラッグストア（同11.2%増）、ホームセンター（同3.2%増）、コンビニエンスストア（同3.0%増）で増加した。

百貨店・スーパー販売額は、前年比2.4%

減となった。衣料品は、婦人服を中心に動きがみられ、3か月ぶりに前年を上回ったが、飲食料品は、青果等の単価値下がり等により、2か月ぶりに前年を下回った。

6月の新車乗用車販売台数は、前年比11.2%減の3,073台となった。登録車、軽乗用車ともに二桁の減少率となり、3か月ぶりに前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

6月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	3,073	△11.2
登録車	1,812	△10.7
普通車	801	△0.4
小型車	911	△17.6
輸入車	100	△16.7
軽乗用車	1,261	△11.8

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標 (前年比) (単位：%)

区分	3月	4月	5月
①消費者物価指数	0.5	1.1	1.1
②勤労者名目賃金	△7.0	△6.9	△7.9

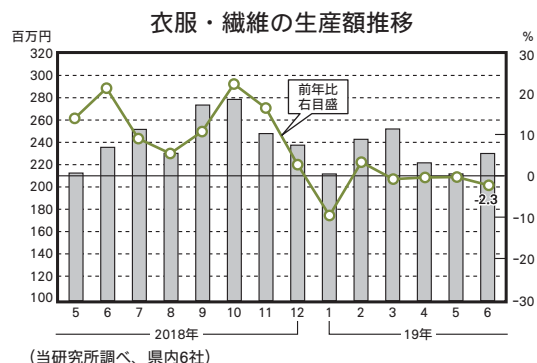
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、4か月連続で前年比減少

6月の生産額は、前年比2.3%減となった。百貨店向け商品の動きが鈍く、4か月連続で前年を下回った。

受注も、夏物から秋冬物への切り替えが進んでいるものの、消費税率引上げを控え小ロット化傾向にあることから、3か月連続で前年を下回った。



雇用

有効求人倍率は1.49倍、高水準続く

6月の有効求人倍率は、1.49倍となった。前月比0.01ポイント低下したものの、高水準が続いている。常用の内訳では、一般は前月比0.05ポイント上昇の1.34倍、パートは同0.02ポイント上昇の1.34倍となった。

新規求人数は前年比8.5%減となり、2か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同22.4%減となった。「繊維」、「食料品」で増加したものの、米中貿易摩擦の影響等による先行きへの不安から、採用に慎重となっている「電子部品・デバイス・電子回路」、「電気機械器具」などで二桁の減少率となった。非製造業は同6.9%業種別・新規求人内訳および新規求職者数 (全数)

減となった。「宿泊、飲食サービス」、「建設」などで増加したものの、「情報通信」、「サービス」、「運輸、郵便」などで二桁の減少率となった。

新規求職者数は前年比1.5%減と、4か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は、前年比34.6%増となり、2か月連続で前年を上回った。

地域別雇用状況 (パートを含む常用) をみると、新規求人数は県南で増加したものの、県北、県央で減少した。有効求人倍率は県北が最も高く1.53倍、県南が1.34倍、県央が1.27倍となった。

区分	2019年5月		6月	
	前年比	前年比	前年比	前年比
新規求人計	8,330	△9.6	8,870	△8.5
製造業	818	△17.0	782	△22.4
食料品	124	△36.7	128	5.8
繊維	172	△16.5	206	13.2
木材・木製品	59	103.4	24	△33.3
電子部品・デバイス・電子回路	74	△36.8	68	△66.8
電気機械器具	47	△38.2	39	△39.1
情報通信機械	21	200.0	4	△33.3
非製造業	7,512	△8.7	8,088	△6.9
建設	939	△3.1	1,163	5.8
情報通信	70	9.4	42	△31.1
運輸、郵便	411	△7.2	311	△26.7
卸売、小売	1,445	△15.8	1,351	△8.9
宿泊、飲食サービス	1,227	0.0	1,329	10.8
生活関連サービス、娯楽	390	2.1	422	△13.7
医療、福祉	1,420	△11.9	1,674	2.8
サービス	844	△22.0	969	△30.1
新規求職者数	4,527	△6.0	3,813	△1.5
有効求職者数	17,437	△4.2	16,658	△2.4

資料：秋田労働局職業安定課 (注) 臨時・季節を含む。

区分	2019年3月	4月	5月	6月
有効求人倍率	1.32	1.28	1.29	1.34
常用	1.53	1.36	1.32	1.34
パートタイム	1.52	1.53	1.50	1.49
全数 (季調済)	1.52	1.53	1.50	1.49
事業主都合離職者数	231	446	280	245
前年比	△16.9	△19.6	72.8	34.6

6月の地域別雇用状況 (パートを含む常用)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県北	1,771	△10.7	1.53	0.03
県央	4,040	△4.9	1.27	0.05
県南	2,109	4.9	1.34	0.02
合計	7,920	△3.9	1.34	△0.04

(注) 臨時・季節を除く。